



医療アートメイク学会

Medical Society of Permanent Makeup

本学会は、色素の安全性と危険性の評価、機器の有用性の評価、施術の安全性と質の高い施術法の確立を目指して医師、看護師が中心となり発足した学会です。特に医療安全に配慮し、合併症や後遺症が極めて少ない医療アートメイクの普及を最大の使命と考えています。患者満足度の高い施術を常にキャッチアップし、最新・最良の医療を提供できる場を維持していくことを目的とした学会です。

医療アートメイク学会は日本唯一の医師主導の安全で安心なアートメイクを勉強している学会です。真面目にアートメイクの勉強をしたい看護師の皆様のご参加をお待ちしています。

一般社団法人医療アートメイク学会
理事長 池田 欣生



ご案内

詳しくはホームページをご覧ください。

医療アートメイク学会公式 HP



学会公式 LINE

最新の技術情報やイベント情報を
配信しております。是非ご活用ください。



次回開催

第9回 医療アートメイク学会

日時：2024年3月31日(日) 10:00

場所：東京ミッドタウン八重洲カンファレンス
東京都中央区八重洲二丁目2番1号

特別講演

嶋田 ちあき 先生

メイクアップ・アーティストとして、タレント、女優、モデルのメイクアップを数多く手がけ、モード性を取り入れたメイクと、その人の個性を引き出すバランス感覚で多くの女性から支持されている。執筆、化粧品関連のアドバイザー、メイクショー、TV出演などでも活躍。プロのメイクアップアーティストを要請するアカデミーやヘアサロンやメイクブランドのプロデュースも手掛ける。



医療アートメイク学会事務局

お問合せ先 E-mail : info.jmam@gmail.com (担当：高安・会川)

第8回 医療アートメイク学会（2023年9月24日開催） 活動報告

医療アートメイク学会 開会の辞

東海大学医学部外科学系形成外科 教授/医療アートメイク学会 理事 河野太郎

ライブサージャリー 切らない黒目整形 (NILT2点)

座長: あきこクリニック 院長 田中 亜希子

+アリアナリフト 注入 (CLEVIEL Contour+レニスナ)

東京皮膚科・形成外科 総院長 池田 欣生

+アイランアートメイク

医療アートメイク学会の理事長 池田先生による、ライブサージャリーで眼瞼下垂手術とアートメイクのアイラインのコンビネーション治療を実際に見る特別な講義がありました。



特別講演① 医療アートメイクに必要な眼瞼周囲の解剖

愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 教授 柿崎 裕彦

特別講演② ヨーロッパのアートメイクを視察して

HAAB CLINIC アートメイク部責任者 永森 友美

特別講演③ 韓国アートメイク最前線

Clinic K 院長 金 児盛

THE NINE KOREA CEO グドンウォン

特別講演④ アートメイクとMRI

自治医科大学 形成外科学 素輪 善弘

特別対談 アートメイクの集客におけるマーケティング方法

アーティスト Matt

HAAB クリニック代表理事 梶 千尋

医療アートメイク学会 理事長 池田 欣生

特別講演では、愛知医大病院 眼形成・眼窩・涙道外科教授 柿崎先生による、アートメイクのアイライン施術を行う際に欠かすことができない、眼瞼部の解剖・副作用のリスク・注意点について講義がありました。

アートメイクとMRIについては、MRIの原理やアートメイクを行っている患者への潜在的なリスクについての講義。

熱傷やアートファクト、色落ち、疼痛や異常感覚、灼熱感などのリスクを理解して、アートメイクの施術・患者様へ説明することの重要性が報告されました。



一般演題① ドクター施術とコラボする眉デザイン

e: Top clinic 伊澤 紗羅

一般演題② 多種多様な顔の造形に応じたデザインの提案方法について

渋谷 ami クリニック 大石 祥子

一般演題③ マシンパウダーブロー・眉毛マシンヘアストローク手法で目指す

Bx clinic 鈴木 明恵

低侵襲性、高定着率アートメイク

一般演題④ アートメイク色素の退色/変色に関する考察

NEW FACE AESTHETIC CLINIC 木村 裕美

最後に、演題を募集し、医療アートメイク学会会員のアートメイク看護師による発表がありました。

① 眉アートメイクは、額の筋肉や目元手術の影響でデザインが大きく変化する。そのため、アーティストには美容施術の眉形に対する影響の知識が必須である。理想的なアプローチは、医師とアーティストが連携し、術後変化を予想した施術計画とデザインを行うことである。

② 眉毛アートメイクのクレームは、施術者とお客様の間で起こり得る完成イメージの相違が原因。お客様自身の骨格や表情筋などにより左右差が生じるため、それを理解してもらった上で希望のデザインに近付けていく必要がある。そのため、納得してもらえる説明の仕方とデザインを心がけている。

③ NanoReal PMU テクニックは、極細針と色素を使い、皮膚表皮だけにインクを入れることで、痛みを抑え、定着率を高める施術法。また、パーソナル眉毛デザインを重視し、それぞれの患者様に最も似合うデザインを仕上げていく。

④ アートメイクは時間の経過とともに退色し、時には変色することがある。今回、過去に入れたアートメイクが薄茶色に変色した症例を組織学的に検討したところ、色素がマクロファージに貪食され、組織内に拡散していることが明らかになった。また、色素の種類によっては、変色を起こす可能性があることが示唆された。



医療アートメイク学会 閉会の辞

東京皮膚科・形成外科 総院長/医療アートメイク学会 理事長 池田 欣生

アートメイク検定

アートメイク検定は、アートメイクに必要な知識を増やすための検定です。

今回は、7名の方が合格しました。

